

NT（準絶滅危惧）

カゲロウ目 ヒトリガカゲロウ科

カテゴリー判定基準：a), b)

ヒトリガカゲロウ

Oligoneuriella rhenana (Jmhoff, 1924)

日本では本州に分布し、国外ではヨーロッパに分布する。過去に日本海の沿岸からの記録があるが、最近は千葉県からの記録のみ。大河川の下流域に生息する。1978年には利根川で多数確認されたが、現在は減少した。河川下流域の護岸が三面コンクリート化したことと汚染による環境悪化によって、生息地が極端に狭められている。幼虫は体長約20mm。体は扁平で前脚の腿節に長毛列がある。小顎の基部に扇状の鰓がある。腹部の鰓では、第1鰓が腹面にあり、第2鰓以降は背面にある。尾毛は3本。

執筆者：谷 幸三（一般社団法人淡水生物研究所）

カゲロウ目 トビイロカゲロウ科

カテゴリー判定基準：a), b)

リュウキュウトビイロカゲロウ

Chiusanophlebia asahinai Ueno, 1969

日本固有種

石垣島、沖縄島、奄美大島に分布。成虫の後翅はない。石垣島では、1997年に数個体が確認されている。溪流に生息し、河川改修や水質汚染による環境悪化が心配されている。

執筆者：谷 幸三（一般社団法人淡水生物研究所）

カゲロウ目 オオシロカゲロウ科

カテゴリー判定基準：b)

アカツキシロカゲロウ

Ephoron eophilum Isiwata, 1996

日本固有種

関東地方の利根川水系（利根川、荒川、江戸川）のみに記録されている。成虫は体長約20mm。尾毛はオス2本、メスは3本。年1世代。日の出前に交尾・産卵し、数時間のうちに死ぬ。オスは亜成虫から成虫に脱皮するが、メスは亜成虫のままで一生を終える。

執筆者：谷 幸三（一般社団法人淡水生物研究所）

カゲロウ目 オオシロカゲロウ科

カテゴリー判定基準：a), b)

ビワコシロカゲロウ

Ephoron limnobium Isiwata, 1996

日本固有種

琵琶湖にのみ分布する。成虫は15～20mm。オスの亜成虫の尾毛は2本。メスの亜成虫の尾毛は3本。メスは亜成虫のまま交尾し、成虫にならない。9月上旬か中旬に羽化する。

執筆者：谷 幸三（一般社団法人淡水生物研究所）